

《入選》

平和に思いをよせて

稲枝東小学校 六年

小西 樺乃 さん

あなたが思う「平和」とはどのようなものですか。辞書で調べると、「戦いや争いがなく穏やかな状況」と書かれていた。私はこれが本当に「平和」とは何かを考えたときに出る正しい答えなのか疑問に思い、総合的な学習の時間に取り組んだ。

学習の中で太平洋戦争について調べてみると、現在では考えられないような恐ろしい出来事が起きていたと分かった。私は特に原子爆弾についてのが心に残った。原子爆弾が投下されてからの数年は、平和とはかけ離れた時間が過ぎていたこ

とだろう。沢山の人が大切な人を失い、悲しみにくれていた。この状況を平和だと考える人はゼロに近いであろう。

それでは、今の日本はどうなのだろうか。戦争が起こっていないから平和といえるのだろうか。朝起きて、学校へ行き、授業を受け、給食を食べ、放課後塾に行き、安心して夜寝ることができる。この生活をおくることが平和なのだろうか。今の日本では死者がたくさん出る戦いや大きなテロは起こっていない。しかし、まわりの世界に目を向けると、戦争や紛争、テロといったものがいくつも起こっており、いつ太平洋戦争のような恐ろしい戦いが起こってもおかしくない状況であると感じる。それでは何を大切にして毎日を過ごしていくと良いのだろうか。私は、お互いを尊重しあい、理解することだと考える。

言葉がちがう、文化がちがう、生まれた国がちがう、肌の色がちがう、そのようなちがいをお互いに受け入れ、尊重していくことで良好な関係を作っていくのではないだろうか。自分の意見だけが正しいと考え、自分とちがう意見の人を不正解だと決めつける人が多いように感じる。自分とはちがう意見にも耳をかたむけ、みんなが平等にすごせる世界が本当の「平和」だと思う。